

# 競 技 注 意 事 項

- 1 競技は 2020 年度日本陸上競技連盟競技規則による。
- 2 点呼(100m ゴール後方)はプログラムに示された招集完了時刻までに張り出された点呼用紙の自分のナンバーカードに○をし、トラック競技の場合は腰ゼッケンを各自で取り招集完了時刻の 5 分後迄に現地集合し出発係のチェックを受ける。本人が現地にいない場合は失格となる。
- 3 選手はその競技をするほか、トラック・フィールド内に立ち入ることはできない。
- 4 (1) 他の種目と兼ねて出場する者は、その場の審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。  
(2) 点呼に遅れた者、点呼用紙に○が付いていない者は棄権したものとして処理する。  
(3) ナンバーカードは胸背両部に確実に縫いつけ、端を折ってはならない。ただし、跳躍競技については胸・背のいずれかでよい。(トラック競技については腰レーンナンバーカードを使用する)管内で割当番号がない者は、主催者が交付したのものを使用すること。なお、大会終了後返却をお願いします。
- 5 トラック競技で棄権者がある場合はそのレーンをあけておく。
- 6 トラック競技の予選のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の通りとする。
- 7 ポール以外の用具は競技場備え付けのものを使用する。練習用としても用具を場内に持ち込んではいならない。但し、ヤリは検定の上使用してもよい。検定は用器具庫で競技開始 1 時間前に行う。
- 8 跳躍競技のバーの上げ方(天候その他の事由により変更することもある。)
 

共通男子走高跳	130 (練習)	135	140	145	・・・	170	以後 3 c m
中学男子走高跳	120 (練習)	125	130	135	・・・	160	以後 3 c m
共通女子走高跳	120 (練習)	125	130	135	・・・	145	以後 3 c m
中学女子走高跳	105 (練習)	110	115	120	・・・	140	以後 3 c m
共通男子棒高跳	340 (練習)	350	360	370			以後 1 0 c m
中学男子棒高跳	170 (練習)	180	200	220		240	以後 1 0 c m

※開始のバーの高さは変更する場合もある。  
※選手が 1 人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。
- 9 三段跳の踏切板は男子 9 m と 1 1 m に設置する。
- 10 リレー競技のオーダーの提出は、招集完了時刻の 1 時間前までに総務員に提出すること。(用紙は総務員から受け取る)
- 11 セパレート競技においては、決勝線通過後自分のレーン(曲線)に沿って走り、他の走者の妨害をしないようにする。
- 12 スパイクピンは 11 本まで、長さは 9 mm 以下とする。
- 13 ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話などは競技場内に持ち込まないこと。
- 14 助力については、競技場内での助力は一切禁止とする。今回はコーチングエリアを設置しないため助言については該当種目の競技役員の指示に従い競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。また映像機器は競技役員に確認し競技者に見せることはできるが、手渡してはいけない。

※ 砲丸の重さ

区分	男子	高校男子	中学男子	女子	中学女子
重さ	7.260kg	6.000kg	5.000kg	4.000kg	2.721kg

※ 円盤の重さ

区分	男子	高校男子	女子	区分	男子	高校男子	女子
重さ	2.000kg	1.750kg	1.000kg	重さ	7.260kg	6.000kg	4.000kg

※ハンマーの重さ